

令和3年度事業報告書概要（お台場海浜公園外10公園）

指定管理者：東京臨海副都心グループ

1 管理状況

○ 適切な管理の履行

・お台場海浜公園の便所清掃

新型コロナウイルス感染拡大防止や東京2020大会会場への関心の高まりなどから、毎日の衛生器具等の清掃を実施するとともに巡回により汚れを発見した際は即座に清掃を行いました。

・シンボルプロムナード公園の緑地管理

芝刈り・草刈り等の植込み地管理作業を、該当箇所の利用用途や植物の生育状況に応じて実施しました。基準以上の回数を実施し、維持管理に努めることで来園者にいつでも快適に過ごせる空間を提供しました。

・お台場海浜公園等における新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組

東京都の要請に応じて、路上飲み防止の案内を掲示したほか、人が集まりやすそうな広場やベンチを特定し、ネットやカラーコーンを設置し、人が集まれないように対策を講じました。



<新型コロナウイルス感染拡大防止対策>

・撮影占用へのWEB申込システムの導入

写真や映画等の撮影受付について、FAXだけでなくWEBからも申込可能とし、利用者の利便性が向上しました。

○ 安全性の確保

・公園における防災訓練の実施

発災時に、迅速かつ適切に対応できるよう、通常の情報伝達・避難誘導訓練とは別に、一時滞在施設訓練を訓練内容に加えて実施しました。災害発生から避難誘導、情報伝達、施設点検、一時滞在施設訓練を一連の流れで実施したことにより、発災後における動きを公園スタッフで共有することができました。また、発災時の情報伝達班や避難誘導班など役割を固定せずに各役割の訓練を参加者全員で実施し、スタッフがどの役割でも適切に動けるようになったことで、利用者の安全を確保する体制を整えることができました。

・海上バス乗り場浮棧橋補修

海上バス乗り場浮棧橋が老朽化により破損や不具合が発生したことから、該当部分について補修を行い、利用者に安心・安全な施設を提供しました。

2 事業効果

○ 事業の取組

・シンボルプロムナード公園 2020花壇ボランティアの取組

東京2020大会開催に伴い設置されたアートガーデン、マスコットガーデンの維持管理をボランティアの方々を募り、実施しました。令和3年7月16日から9月5日（内、41日間）でアートガーデン122名、マスコットガーデン128名のボランティアが参加しました。



<アートガーデン、マスコットガーデン>

・シンボルプロムナード公園 インクルーシブ・プレイグラウンド実証実験

「インクルーシブな社会」の土台となる理解促進の機会を公園で提供し、「先進的で魅力あるまちづくり」を推進している東京臨海副都心の公園で「共生社会への新たなチャレンジ」を行うべく、シンボルプロムナード公園の芝生広場に3種類の遊具を期間限定で整備しました。



<インクルーシブ・プレイグラウンド>

・インスタグラムの開始

Instagramを活用し、花や風景、公園のトピックスなどタイムリーな写真を更新し、公園利用者に魅力的な公園の情報を週に1回程度発信しました。

○ 利用の状況

・お台場海浜公園

東京2020大会ではトライアスロンなどの競技会場として使用されたため、長期間かつ大規模に閉鎖されました。さらに、緊急事態宣言等が発令されるなど、外出自粛が推奨されていたことが影響し、利用者数は減少しました。

○ 行政目的の達成

・東京2020大会への協力

コロナ禍による1年延期や無観客開催などの状況の中で、大会前の準備段階から大会期間中の運営、大会終了後の原状復旧まで、都や組織委員会と密に連携し、大会運営に協力しました。

3 収支状況（単位：千円）		
項目		金額（税込）
収入計		630,604
内訳	指定管理料	630,604
	利用料金	0
支出計		593,712
収支差		36,892

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。